

ふじみ野市環境協働事業補助金 対象事業 「自転車でエコミネーション 2014」を開催

～ 日常で利用する自転車で発電！ エコを学ぶイルミネーション ～

文京学院大学環境教育研究センター(センター長:人間学部准教授 柄田 毅)は、2014年12月20日(土)に、自転車を使って発電し、イルミネーションを点灯しながらエネルギーについて学ぶ「自転車でエコミネーション 2014」を、ふじみ野市の東久保中央公園にて開催します。

本取り組みは、会場に設置された4台の自転車をこぐことで発電し、学生が制作した地球型のイルミネーションを点灯させるイベントです。冬の風物詩であるイルミネーションを楽しみながら、エネルギー・エコについて五感を使って学ぶことができます。

昨年に続き二回目となる本年は、エネルギーの大切さについて学習しやすいよう、クイズ形式のパネル展示を初めて実施します。また、子ども用自転車も新たに設置し、小さな子どもでも楽しめるように改良しました。なお、本イベントは、企画・運営・補助金の申請など実施に至るまでの全過程を、環境教育研究センターに所属する学生が手掛けています。



<準備の様子>



<2013年実施の様子>

自転車でエコミネーション 2014 開催概要

- 主催：文京学院大学環境教育研究センター
日時：2014年12月20日(土) 17:00～20:00 *雨天時は21日(日)に順延
会場：ふじみ野市「東久保中央公園」(埼玉県ふじみ野市ふじみ野 1-3)
参加：自由。事前申し込み不要

<文京学院大学環境教育研究センターについて>

文京学院大学付設の研究機関として、2006年に発足。「自然と人間の共生」を理念とし、地域における環境教育活動および研究、そしてその活動を通じた高い専門性をもつ人材の育成を目的に活動している。「森のムッレ教室」、「清掃戦隊モットイナイレンジャー」や「シイタケプロジェクト」など様々なプログラムを同時展開している。